

# 弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

研究機関名： 弘前大学大学院医学研究科  
分子病態病理学講座  
研究責任者： 水上 浩哉

当院では患者さんの試料・情報を利用させていただき、下記の臨床研究を弘前大学大学院医学研究科倫理委員会の承認ならびに研究機関の長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施します。

本研究への協力を望まれない対象となるご家族の方は、下記連絡先までお申し出くださいますようお願いいたします。

## 臨床研究名称

2型糖尿病臓器における剖検組織を用いた一塩基多型と病理学的変化に関する研究

## 研究の目的

2型糖尿病の病因において、肥満、食事の西洋化などの環境因子以外に、遺伝的素因も存在することが知られています。これまで行われた大規模臨床研究では、200を超える2型糖尿病の疾患感受性遺伝子のわずかな遺伝子変異（一塩基多型）が解明されています。このような遺伝子多型は、存在しても2型糖尿病の発症率を軽度（1.5倍以下）上昇させるのみです。しかしながら、そのような一塩基多型存在することにより2型糖尿病の原因となる臓器の一つである膵臓及び2型糖尿病の合併症の一つである神経障害に関係する神経組織においてどのような病理学的変化を与えるかよくわかっておりません。そこで、今回弘前大学医学部附属病院で剖検を受けられた患者さんの情報、臓器を用いて、一塩基多型と膵臓と神経の病理学的変化の関連を明らかにします。

研究実施期間 実施許可日 ～ 2027年3月31日

対象となる方 2015年2月から2024年12月までの間、剖検を受けられた方

## 利用させていただきたい試料・情報について

当院のカルテに記録されている情報のうち、個人データ（性別、年齢、身長、体重、BMI、既往歴、家族歴、薬物服用状況、喫煙、飲酒、血圧、糖尿病罹病期間など）、血液項目（入院時の末梢血、血糖、HbA1c、トリグリセリド、コレステロール、尿酸、肝機能、腎機能）、剖検時の情報及び採取された膵臓、膵腹神経について、標記研究のために利用します。臓器からDNAを採取し、一塩基多型を網羅的に解析し、臨床情報、膵臓、膵腹神経の病理学的変化との相関を検討します。

## 外部への試料・情報の提供

なし

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合は下記へご連絡ください。患者さん／その代理人の方から、試料・情報の利用停止を求める申し出があった場合は、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承ください。

**本件連絡先**

分子病態病理学講座・水上 浩哉

連絡先: 電話番号 0172-39-5025 e-mail : hirokim@hirosaki-u.ac.jp